

松井いくひと

(48才)

一人ひとりに 寄り添える

松原へ

立憲民主党

The Constitutional
Democratic Party of Japan

社民党推薦



1 ともにいきいきと暮らせる
福祉のまちづくり

- 元希者、障がい者、誰もが住み
続けたいと思える、課題に基づいた
施策の展開を！

2 「育ち」を大切にした
教育のまちづくり

- 家庭環境に左右されない
「確かな学力」「生きる力」を
つける支援を！

3 人が大切にされる
人権共生のまちづくり

- 様々な人権問題の啓発、
専門家による相談窓口体制の充実を！

4 「世のため、人のため」になる
持続可能なまちづくり

- 誰ひとり取り残さない、多様性が
尊重され、安全に安心して暮らせる
持続可能なまちづくりを！

松井いくひとさん、ガンバレ～!!



松原市長 澤井 宏文

いつも現場の声を市政に届けてくれる松井議員。今後も議会で活躍してくれることを期待しています。



元松原第三中校長 北山 貞夫

私は93歳に。いくひとは三中の卒業生、障がいを持つ仲間に関わり、クラスのリーダーやった。教え子のいくひとを応援します。



松井いくひと
後援会会長 房本 晃

元希者、若者、子どもが主役のまちづくりを松井くんはめざしています。
私も元教員として彼に期待しています。



参議院議員 辻元 清美

市民の声を届けるため、松井さんは議会に必要な人。一人ひとりに焦点があたる政治をともにめざします。



立憲民主党
大阪府連幹事長・
枚方市議会議員 野村 いくよ

見守り隊や子ども食堂等を通じて、子どもの笑顔のために頑張っている松井おっちゃん。
4期目も市議会でがんばれ！



大阪府議会議員・
高槻選出 野々上 愛

「イチ推し！松井いくひとさん！」
朝の見守り隊ボランティア、絆食堂、
新型コロナ感染拡大対策とこの4年間、
地域の為に汗を流してこられた松井さんを応援します。



高槻市議会議員 岡井 寿美代

松井いくひとさんは、子どもを見守り、
人権を重んじてこられました。子どもや
若者のためにも期待しています。



富田林市議会議員 辰巳 真司

松原市の未来のために、人を大切にする政策を実現し、活躍する後輩です。
さらに応援の輪を広げましょう。

松井いくひと プロフィール

- 1974年 松原市南新町に生まれる(48才)
- 1986年 松原市立布忍小学校卒業
- 1989年 松原市立第三中学校卒業
- 1992年 大阪府立松原高等学校卒業(第16期)
- 1996年 花園大学 社会福祉学部卒業
- 2010年 松原市議会議員 初当選(36歳)
- 2013年 第63代松原市議会 副議長
- 2014年 松原市議会議員 2期当選
- 2016年 第63代松原市監査委員
- 2018年 松原市議会議員 3期当選
- 2022年 布忍小学校PTA会長(2008年より)
家族構成：妻・三男一女



個人質問 「市民のニーズにあった体制づくりを」



QRコードを読み取って動画はスマホで!

質問の柱

コロナ禍における教育活動の推進について

- (1) コロナ禍の2年半を経た教育活動の推進について
 (2) キャリア教育について



■コロナ禍の中、スクールソーシャルワーカーへの相談件数も増えているのか？

答弁：相談件数については、コロナ禍前の令和元年度が1,241件、令和3年度が1,873件となっており増えている。教職員からの相談ではいじめや不登校・虐待について、保護者からは子育てや生活に関する相談などがある。



■不登校の問題についてはどのように取り組んでいこうと考えているのか？

答弁：スクールソーシャルワーカーの派遣回数増に取り組んでいる。必要であれば福祉や専門機関などの外部機関と適切につなぎ、支援を行えるよう取り組む。ひき続き、松原市の適応指導教室「チャレンジルーム」と連携を強め、松原市内の不登校児童生徒の支援を行っていく。



■これからのキャリア教育はどのようなビジョンで進めていくのか？

答弁：職場体験学習だけでなく、コロナ禍でも充実した持続可能な取り組みを追求する。小中学校の取り組みを組織的・系統的に行うとともに、児童生徒が発達段階に応じ、主体的に進路、キャリアについて考える機会の充実をめざす。

■コロナ禍での「職場体験学習」の実態はどうなっているのか？

答弁：中学校で実施していた職場体験学習は、2年間実施できていない。松原商工会議所を通じて地元企業の方々に学校に来ていただき、仕事内容をはじめ、働くことのやりがいや喜び、社会で求められることについて聞き取りを実施。大阪府教育庁の事業に積極的に参加し、SDGsの視点から多くの企業とのアイデアミーティングを行うなど、社会とのつながりを実感できるような取り組みも行っている。

質問の柱

生活困窮者自立支援事業について

- (1) 現状について



■市役所の中に相談専門窓口を設置し、相談しやすい体制づくりが必要では？

答弁：相談窓口の各担当者のスキルアップを図る。相談窓口を一元化する部署の設置については、市民に寄り添って相談できる体制づくりという観点で市民のニーズもふまえ研究していく。





私の活動日記

人が大切にされる松原に



この4年間も、**福祉・教育・人権**を柱に取り組みました。新型コロナウィルス感染症によって、私たちの生活は一変しました。コロナの影響はこれからも更に出てきますので、今後も必要な取り組みを進めることが重要です。

朝



地元の駅前であいさつ

朝



通学の子ども見守り隊

夕



ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に対して抗議行動

政党



立憲民主党大阪府連の定期大会に出席

PTA活動



布忍小学校 PTA 会長としての聞き取り活動

毎日コツコツ 活動しています！



これまでの訴え、取り組み

福 祉

- 高齢者、障がい者のニーズに応える避難所のあり方
- 課題をかかえる人の雇用創出
- 重症心身障がいの子どもの居場所づくり
- 貧困対策とヤングケアラーの課題

教 育

- 小中学校の空調設備の導入
- タブレットパソコンの導入
- セーフスクールの取り組み支援
- スクールソーシャルワーカーの全中学校区への配置
- 学校給食の無償化

人 権

- コロナ禍における人権を守る取り組み
- ネットをはじめとする、あらゆる人権侵害を許さない相談・啓発の充実
- DVセンターの設置

